



足立 文子さん

男女が共に輝くまち スウェーデン

去る4月に、足立文子さんが「早春の北欧旅情」のツアーで、世界で最も男女共同参画社会づくりが進んでいるといわれているスウェーデンに行かれ、その現況を報告してくださいましたので、皆さんにお知らせいたします。

雪が解け始めた春先、私はメーラレン湖に映え、美しくそびえる権力の「ストックホルム市庁舎」を再び訪れる機会を得た。世界中が男女共同参画社会づくりの羊本とする都市なのである。

スウェーデンでは高齢化が後々に進み、子どもの出生率がおちて、このままでは890万人の国の人口が維持できなくなるのではという危機感が高まり、母親が子育てをしながら安心して働き続けられるシステム作りが急務となり、新しい社会作りが始まったそうです。その一部を紹介しましょう。

生後6ヶ月から6歳までの子どもは、就学前学校（日本の保育所・幼稚園）に預けられる。コミュニティ（地方自治体）が責任を持って全ての子どもが入れる施設を確保しなければなりません。

産後13ヶ月間、両親には有給休暇があり、両親の保護のもとに育てられます。その間80～85%の給与が支給された後、元の職場へ安心して復帰出来る事が法律で保証されています。

保育料……収入によって異なりますが、出来るだけ多く産んでほしいという願いから第2子以降はぐんと安くしてあります。

保育時間……午前6時30分～午後6時30分の間の必要な時間預けられます。職場の勤務が、遅くとも5時30分で終わり、残業など殆ど無くサッサと帰れるので、すぐ子どもを迎えに行けます。子育ての中で一番頭の痛い教育費は全て無料です。

義務教育……7歳より9年間、通知表はありません。8年生で成績表を貰います。

高等学校……3年間で80%の人が進学。ここまでは国の責任において全て無料です。

大学………入学金なし、授業料は無料。

12年ぶりに訪れたストックホルム市議会は、101人中44人だった女性市議が50人と増え、男女共同参画が更に進み、眩いような環境・福祉のまちでした。



戸外で子ども達とおしゃべりする足立さん

男女共同参画づくりに向けた 平成11年度 女性政策推進室の事業計画

女性政策推進室では、男女共同参画社会の実現に向けて推進事業を計画しています。また、女性行動計画「おおいた男女共同参画推進プラン」に基づき、庁内の各課で男女共同参画社会づくりの視点で事業を行います。

ドゥマーン

◎啓発情報誌「Domain」の発行

■年2回9月、3月に発行し、市の各公共施設等に置いてあります。

■国や市の情報、外国の状況や個人の活動等を掲載します。（一般から応募をいただいたボランティア編集委員が参画）

◎男女共同参画推進フォーラムの開催

■平成12年2月（予定）に市民、企業、団体の方々に広く参加をいただき「男女共同参画社会」の実現に向けた推進事業として開催します。

- ・講演
- ・その他

◎男性講座の開催

■男女共同参画社会づくりで家庭生活において、男性の協力が大切なことから開催します。

- *コンパルホールの講座として開催
- ・男性のためのフレッシュ講座（料理、介護体験等）
- ・5回開催（11月～3月に各1回）
- ・男性30人
- ・受講料…無料

◎「日本女性会議」の市民参加

■全国で男女共同参画活動をしている方々の講演や交流を通して、本市での活動に参画してもらいます。

- *「日本女性会議」
- ・開催地 静岡県浜松市
- ・開催日時 10月1・2日
- ・参加人員 4名

◎「大分市男女共同参画推進懇話会（仮称）」の設置

■女性行動計画「おおいた男女共同参画推進プラン」を、市民の方々（一般公募を含む）から審議をいただき積極的に推進するために設置します。

◎女性行動計画「おおいた男女共同参画推進プラン」の啓発

■市民の方々に「おおいた男女共同参画推進プラン」を理解していただき、男女共同参画社会づくりに協力してもらうために職員を派遣します。

◎女性行動計画「おおいた男女共同参画推進プラン」の概要版の全戸配布

■男女共同参画社会づくりをめざすためのプランを策定したので、全戸に配布し、市民の方に理解を求めます。